



写真2



写真1

撮影：林 信太郎 氏

◆八峰町天然記念物のようす

8月下旬、東京在住の柳沼さんご家族が当ジオパークを訪れました。ご案内したジオサイトは22と33です。

初めにご案内したサイトは、ジオサイト22「石の柱の集まり」というタイトルがついている場所です。樺海岸にある漁港の北側に、海に突き出るように形成されている溶岩からできている岩体です。(写真1)

この岩体は八峰町の天然記念物に指定されていて、現在は秋田県の天然記念物に申請中です。

この溶岩はたくさん割れ目(節理といいますが)が入っており四角形や五角形、まれには六角形の断面をもつ柱(柱状節理)となつています。柱状節理は県内はもちろんだ、国内、ひいては世界のあちこちにみられるのですが、ここジオサイト22では、溶岩の先端部分や中心部まで見ることができ、貴重な場所なのです。

◆地形・地質が好きなアイキくん

柳沼さんご家族は、お父さんがイギリス人でお母さんは日本人です。3人のお子様たちに恵まれていて、長男のアイキくんは高校生でした。地形や地質に関心が強く、今回の旅行にぜひ八峰白神ジオパークを観たいといい、お父さんマーク・ラットさんはその希望を取り入れてくれたのだそうです。

写真3はアイキくん、お母さんのフミエ



写真3

さん、そして案内役をかった私が写っています。

◆関心が強かったバームクーヘン

ここは前述の柱状節理のほかに溶岩の先端部には板状の節理(写真2)、溶岩の内部にはお菓子のポッキーのような節理などがあり、その中で特に注目を引いたものはお菓子のバームクーヘンに似た節理でした(写真4)。写真5にはアイキくんから突っ込んだ質問を受けてタジタジとなつていいる私が写されています。お母さんは常にアイキくんの傍から離れません。



写真4

次は岩館海岸をご案内する予定でしたが、アイキくんの弟と妹が別の場所に行きたいと言い出し、その場で家族会議が始まりました。

その結果、アイキくんだけは私と共に岩館海岸へ、他の皆さんは十二湖へ行くことになりました。

◆海浜ブルーサイドに見られるデイサイト
アイキくんを案内したサイトはジオサイト33「割り込んできたマグマ」です。見わたすかぎり見られる黒っぽい岩体に黄白色のデイサイトが帯のようにみられる場所です(写真6)。アイキくんは熱心に観察し、質問をします。時々英語も混じるので、私はタジタジ。



写真5

やがて約束通りご家族が集まった時、お母さんがアイキくんの話に耳を傾けていました。「私も一緒に聴きたかった。」と一言述べて帰途につきました。

◆八峰町ってスゴイ!!

後日、ご両親から礼状が届きました。お父さんからは「...東京に比べてみると、どこを見てもなんとすばらしい風景がたくさんある町でしょう!」と。お母さんからは「お会いする方々、そしてすばらしい自然。八峰町ってスゴイ!!と思いました。」とありました。



写真6

Dear Kudoh san, Many thanks for your valuable time during our vacation there. You gave us a special connection with that part of Japan. It is always good to see that there is much more to this wonderful country than just Tokyo. Attaching photos (3). Wishing you and the staff there well and good health. Regards, Mark Rutt, Yaginuma Fumie and Aiki, Megumi and Jyo.

当協議会は、日本国内だけではなく世界の人の為にも、八峰町の自然を大切に守っていきたくと考えます。そのことが30年後、50年後の八峰町にきつと福をもたらしてくれると考えています。

八峰白神ジオパーク推進協議会

会長 工藤 英美

〒0182612

秋田県山本郡八峰町八森

字ノケソリ116 旧岩館小学校内

TEL 0185-78-2427